

従業者向け

児童発達支援 評価表 ゆりかご成育センター R7



○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者定員に対しての職員配置は適切だが、時間帯に応じて訓練室毎の利用者調整を行うことはある。 ・職員2人でよいと思う状況でも3人配置されるなど、職員配置が多いと感じるときが時々ある。 ・定数だけでは安全面が確保できない日もあるため、手厚く職員配置をしている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・整理はされてきているが、余計なものや掲示物が多い。具体的に改善を進めていきたい。 ・気が付いた点を職員間で共有し、改善に向けて取り組んでいる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・拭き掃除、アルコール消毒も行っている。 ・訓練用具や玩具は刺激を減らすために棚に収納するなどし、すっきりした訓練室空間には心掛けている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの訓練室を活用しているが、クールダウンや相談のための部屋も2部屋ある。中庭やテラスでクールダウンすることも行っている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議を月2回行い、意見交換を行っている。 ・毎朝のミーティングをうまく活用できている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	年齢や能力に配慮した活動を考え作成し、公開もしている。繰り返すことで能力やスキルの獲得につなげることを目指している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者の意見だけでなく、他の保育士やOT・STの専門的な意見も取り入れた上で作成している。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	・職員の気づきを朝ミーティングや療育の現場で出し合い共有を図っている。 ・支援に迷うケースでは検討が進むが、全員についてそれが行えているとは言えない。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3	・他の先生が立てた計画は共有されていない。自分で担当ケースの情報を収集し作成する。当日のプログラムについては共有されているが、支援計画全体となると十分ではない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・でき上がったプログラムは共有しているが、立案は個々で行っている。 ・個々でプログラムの内容を考え立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・行う内容は共有しているが、役割分担や支援の仕方については十分な打ち合わせが行えているとは言えない。 ・朝のミーティングにて家族からのニーズや利用者に配慮することをその都度共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・翌日の朝ミーティングで共有を図り、支援の方向も検討している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・必要時には訪問したり電話したりして、共有を図っている。	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	・できる限り行っている。園が小学校に申し送りしているような要録などのようなレベルではない。
	28	(28~30は、センターのみ回答)	/	/	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/	/	・積極的に県や法人・事業所の研修に参加している。外部研修に参加した職員はレポートにまとめ伝達研修を行い、事業所としてスキルアップにつなげている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/	
	31	(31は、事業所のみ回答)	/	/	
		地域の児童発達支援センター(ぼっぼの家)との連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・情報提供は行っている。 ・玄関に掲示したりお便りにて情報提供したりしている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・対面で読み上げ、丁寧に伝えている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・面談にて家族ニーズをつかみ、支援計画に組み込んだ上で、家族に説明し共有を図っている。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・定期的なモニタリングでは、利用に関する満足度や要望を確認すると共に、連絡ノートで悩み事相談があった際には、職員間で共有し、アドバイスや事業所としての考えを伝えている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	・父母の会、保護者会は開催していない。希望する利用者がみえることは把握している。子育てサロンなどを開催したいと考えてはいるが、個別の家族支援で留まっている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・連絡ノートでの悩み事相談には、ノートに助言を書いたり、個別に時間を作って相談したりしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	・取り組んでいることもあるが、不十分な状況である。 ・月に1回、療育内容をお便りとして渡してしている。 ・SNS等ははまだ活用していないが、活動写真を掲示したり一日の様子を写真で撮り、送迎時に保護者に見せて様子を伝えている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・言葉だけでなく書面等を活用するなどして、少しでも確かな意思疎通になるように取り組んでいる。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・難病がある利用者もみえるなど発達特性が多様であるため、現状の職員配置では地域に向く活動を仕組める状況にはない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・周知は、紙面にて行っている。てんかん発作発生時を活用し避難誘導訓練は行えているが、防犯対策などについては十分行えているとは言えない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・行っているが、家族との情報共有なども含め十分とは言えないこともある。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・医師の指示書というより、保護者からの申し出により処方を確認して行っている。 ・医師の指示書で確認しているケースはない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・緊急時に職員連携を確実にを行うために、ヒヤリハット事案の際に避難誘導訓練も実施するなど職員の現場研修を意識して行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	・家族への周知は弱いと受け止めている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・厚生労働省作成のYouTube研修を活用し、非常勤職員も研修しレポートにもまとめている。

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・訓練室からの飛び出し防止のためにやむなく一時的に施錠することがあるが、身体的拘束に該当するため利用契約時に説明し同意書も提出していただいている。今年度、児童発達支援事業では本事業に該当する施錠は行っていない。
--	----	--	---	---	---

保護者向け

児童発達支援 評価表

ゆりかご成育センター R7

(保護者の皆さまへ)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についても積極的にご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	13	0	0	1	・走り回ることが好きな子なので、広々とした教室はあ りがたいです。 ・外活動で畜産センターに行き回れるのもよいで す。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2	0	2	・子の様子を見る限り満足のいく活動ができていると思 いますが、その陰で先生方が人手不足でも努力されてい るのかもしれないなあと感じました。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境(※1)になっていると思いますか。また、事業所 の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いま すか。	13	0	0	1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	11	1	0	2	
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	14	0	0	0	・子の性格や特性に応じてどのようにかかわったのかを 教えてもらって参考になります。 ・OT、STの介入や個別療育なども受けることができ かっています。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事 業所の提供する支援内容と合っていると思いま すか。	13	1	0	0	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニ ーズ・願いや課題が客観的に分析された上で、児童 発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されて いると思いますか。	13	1	0	0	
	8 児童発達支援計画には、国の児童発達支援ガイド ラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人 支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援 内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定さ れ、その上で、具体的な支援内容が設定されてい ると思いますか。	13	0	1	0	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	14	0	0	0	・連絡ノートでの活動内容でどのような支援が受けら れるのわかる。教室が奥なので姿がみられないのが残念 だが、見学するとなると子どもに気付かれていつもの活 動ができなくなりそう。
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよ う工夫されていると思いますか。	13	0	0	1	・毎回いろいろな活動があり、子が家でも成長してい る感じられてうれしい。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、そ の他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	4	3	・ゆりかごさんが週1回、他の4日は幼稚園に登園して いるため、交流できているということもできるのかもしれ ません。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0	・利用者負担について質問したら、すぐに確認して返答 してもらえました。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説 明がなされましたか。	14	0	0	0	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	2	2	・どうしているのかわからないです。 【ゆりかごコメント】 *個別対応となるため、支援が必要でない利用者に対しては対応を行っていません。今後は周知を進めていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	0	・子どものことを大切にしてくださっていると感じます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	6	3	【ゆりかごコメント】 *当事者同士のつながりは有効です。子育てサロンを行えるとよいという意見は職員の中にもありますが、現場の直接支援に関する職務で精一杯な状況が当事業所の現状です。 父母の会等の機能を補うために「個別の家族支援」に力を入れてきています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	0	・いつも親身に相談に乗っていただき感謝しております。心強いです。 ・「利用日を増やしたい」「個別療育をお願いしたい」ことをお伝えしたら、迅速に対応してくださりとて助かりました。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	0	3	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	0	2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	3	0	4	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	3	0	1	・入園時の説明で、ケガ等が発生した際の手順も説明を受けておりますが、幸いそのような機会がないため、発生した際の評価はできません。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	・個別療育をしてもらった日は、何をどうやったかが事細かく書いてあり、わかりやすく丁寧でありがたいです。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	0	0	満足度 95%
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	0	0	・子どもの成長を少しずつですが感じることができています。いつもありがとうございます。

-
- ※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。
 - ※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
 - ※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。
 - ※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
 - ※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価総括表

【児童発達支援】

○事業所名	社会福祉法人 英集会 ゆりかご育成センター		
○保護者評価実施期間	令和7年11月14日 ~ 令和7年12月5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年11月14日 ~ 令和7年12月5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の前向きさが強みであり、宝である。4年間離職者を出していない。 ・ 「全ては子どもたちの笑顔と自立のために」を理念に掲げ、職員の質の向上に力を入れている。 ・ 真摯に療育に向き合う「チームゆりかご」の職員そのものが強みである。 1 児童発達支援管理責任者資格 3名 2 相談支援専門員資格 1名 3 医ケア児支援研修修了者 2名 4 強度行動障害支援修了者 基礎1名、実践研修1名 5 社会福祉士資格 1名 6 介護福祉士資格 2名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員研修の充実を図っている。 ・ 具体的な支援の在り方については、職員会・職員研修会だけでなく、毎朝の職員ミーティングでも常に検討している。 ・ 外部研修の受講、国家資格取得を職員に推奨している。 ・ 令和8年2月の社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験に2名が臨んだ。 ・ 非常勤職員にも研修してもらえるように、動画による研修や紙面研修を行っている。 ・ 今年度より言語聴覚士と10年以上勤務のベテラン保育士による専門的支援を個別に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人としての研修システムの構築を目指すことを求め、法人の本部会議で検討している。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの訓練室があり、活動スペースの広さは強みの一つである。 ・ 広さを生かした中庭やテラスでの外遊び活動をプログラムに位置付けられている。加えて、天気の良い日には徒歩5分で行ける畜産センターの遊具を活用したプログラムも行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの訓練室ごとの支援プログラムを準備しているが、その日の利用者に応じた支援を工夫する職員間の連携と共有を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な支援プログラムについての検証を積み重ね、「ゆりかごプログラム」「ゆりかごタイム」として構築していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者との共有を大切にしている。 ・ 連絡帳だけでなく、ご家族がお迎えにみえた際に、良さや課題について具体的に丁寧に伝えし共有を図っている。 ・ 事業所利用満足度が95%だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回の利用時に保護者との情報共有に心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援では活動の様子を保護者と共有するためにLINEで配信するようにした。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜市の北部に位置しており、利用するにあたり保護者が送迎にかかる時間を要するケースが多い。送迎対応を希望する声があるが行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後等デイサービス20名と児童発達支援30名の多機能型での運営をしていることが、送迎対応のネックになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園・保育園への送迎対応を検討していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多機能型30人での運営が時代に合わなくなってきた。10年前にはなかった経営の不安定さが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この10年間で岐阜県の未就学児童数が31%減少したが、特に岐阜市北部では少子化が進んでいる。 ・ 支援プログラムをはじめとする強みを明確に構築していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所の単位分けを行うことも経営の安定化につながるため、検討を続けていく。
3			